

アナフィラキシー ってなに？



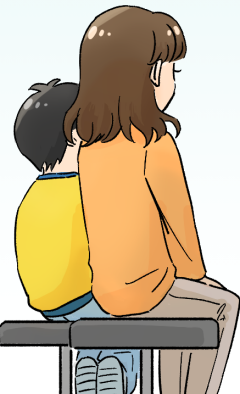
4

【監修】東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 堀向健太 先生

後日、紹介された専門病院で
アレルギーマスクの検査を
することになりました

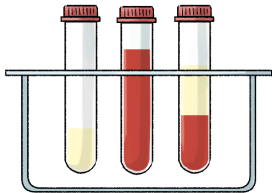
今日は
詳しい検査を
していきたいと思います

よろしく
お願いします！

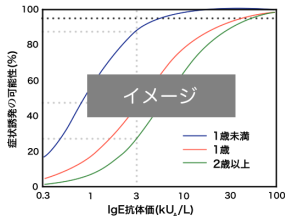


病歴を確認した後に……

コンポーネント検査



クルミのアレルギーマルミの粗抗原検査とコンポーネント検査を組み合わせてリスクを評価します



牛乳に関しては「牛乳特異的IgE抗体価」とプロバビリティカーブを確認します

プロバビリティカーブ

食べ物に含まれるタンパク質の特異的IgE抗体価(濃度)と臨床症状発現リスクの関係を示す曲線です。
特異的IgE抗体価が高いほど、症状誘発の可能性が高くなります。

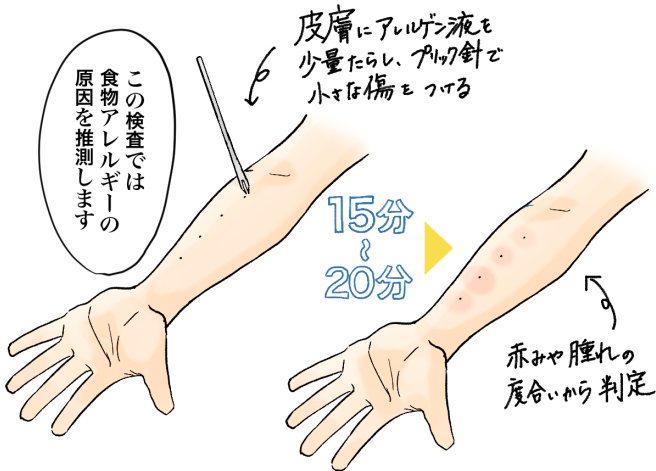
皮膚プリックテスト

この検査では
食物アレルギーの
原因を推測します

皮膚にアレルゲン液を
少量たらし、プリック針で
小さな傷をつける

15分
と
20分

赤みや腫れの
度合いから判定



皮膚プリックテストについてはこちらをチェック

<https://allergy72.jp/prevention/examination.html>

食物経口負荷試験

この検査では
食物アレルギーが出ずに
どれだけ牛乳が
飲めるのかを確認します

一定の間隔で食べてみて
症状が出るかどうか確認

食物経口負荷試験の詳しい情報はこちらから

<https://allergy72.jp/prevention/examination.html>

検査後……

これまでの病歴と
特異的IgE抗体価を
あわせて考えると
※クルミや牛乳のアレルギ―
である可能性が極めて高いと
思われます

また食物経口負荷試験の結果
牛乳は25mLまでなら
飲めることがわかりました



体調により

食べられるかどうかも

変化しますが

慎重に"必要最小限の除去"
を目指しましょう

はい！

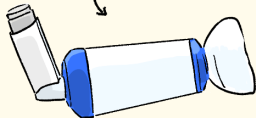


※前回たかしくんが食べたしゃぶしゃぶのごまだれ
にはクルミが使われていました



25mL

吸入薬
↓



内服薬
↓



抗ヒスタミン薬 気管支拡張薬

皮膚の症状のみ、
もしくは呼吸器の症状で
ごく軽い場合は

抗ヒスタミン薬の内服や
気管支拡張薬を使います



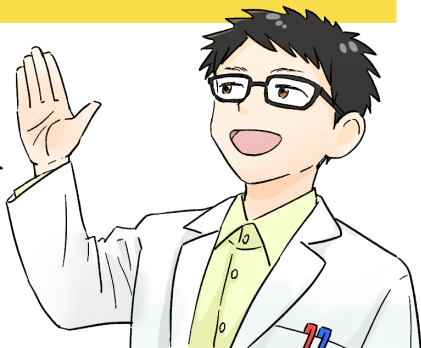
アナフィラキシー



発症後極めて短い時間のうち、全身にあらわれるアレルギー症状

さらに
アレルギー症状の中でも
アナフィラキシーは

発症後極めて短い時間のうち
全身にあらわれる
アレルギー症状です



アナフィラキシーについて詳しくはこちらをチェック

<https://allergy72.jp/anaphylaxis/what.html>

アナフィラキシー症状

消化器の症状	・繰り返し吐き続ける ・持続する強い(がまんできない)おなかの痛み
呼吸器の症状	・のどや胸が締め付けられる ・声がかすれる ・犬が吠えるような咳 ・持続する強い咳込み ・ゼーゼーする呼吸 ・息がしにくい
全身の症状	・唇や爪が青白い ・脈に触れにくい・不規則 ・意識がもうろうとしている ・ぐったりしている ・尿や便を漏らす

日本小児アレルギー学会アナフィラキシー対応ワーキンググループ：一般向けアドレナリン自己注射薬の適応 より一部改変

